

#### <出演者プロフィール>

田中郁三

昭和28年3月京都大学工学部卒、工学博士

京大交響楽団にてヴァイオリン（コンサートマスター）を担当。

この間、主として大学卒業生のオーケストラ「こんせえる・ぬうぼう」にて、ショスタコーヴィチ作曲オラトリオ「森の歌」を本邦初演。後年、萩原正吟師から胡弓の奏法を学ぶ。会社勤務時に同好の士と室内楽を演奏。最初は工場の文化祭で、宮城道雄作曲「春の海」を琴と共演、最後は本社の文化祭で、シューベルト作曲ピアノ5重奏曲「鱒」の第2楽章。現在国際特許事務所に勤務の傍ら、市民オーケストラ及び化学オーケストラに在籍して演奏活動を継続中。

坂田良三

昭和31年3月京都大学工学部卒、工学博士。

京大交響楽団にてヴァイオリン、ヴィオラを担当。

会社勤務を経て定年退職。市民オーケストラ（三鷹市管弦楽団）に最近まで在籍。

現在は地域（江戸川区）音楽活動に参加。

森田 修

昭和31年3月京都大学工学部卒。

京都府福知山市の福知山高等学校での器楽クラブ活動でヴァイオリンと指揮を担当。

京大交響楽団にてヴァイオリン、ヴィオラ（コンサートマスター）を担当。

会社勤務を経て現在APA（アマチュア演奏家協会）での室内楽、西東京交響楽団、ルソール弦楽合奏団等でヴィオラ奏者として活躍中。

中村康雄

昭和28年3月京都大学医学部卒（薬学科）

京大交響楽団では当時の指揮者山田忠男氏の指導を受けフルートを担当。吉田雅夫、村松孝一、金昌国各氏からも種々教示を得た。フルートの本当の難しさ知るとなり、才能教育研究会の何人かの先生方からヴァイオリン奏法を学び在京のいくつかアマオケにビオラとして参加させてもらったが、会社員時代は海外勤務や出張の連続でオケは長続きせず室内楽に転向した。中年になってチェロを佐藤良雄氏に師事。現在はチェロで室内楽活動を継続中。APA（アマチュア演奏家協会）設立に関与し終身会員。日本ヨハン・シュトラウス協会会員。田中郁三氏とは中学で同級、ともに京都市高校連合オーケストラの創立に参加。今回、坂本利彦氏とは新制、旧制の違いはあるが小学校以来の先輩であることが判明。仕事は創薬と医薬開発の領域で活動していたが業務は75歳で総て終了した。

山本 健

昭和37年3月京都大学経済学部卒。

京大交響楽団にてコントラバスを担当。

銀行勤務を経て、現在も在職中より引き続き所属している地域オーケストラ（大宮フィルハーモニー）にてコントラバス演奏活動を継続中。

石原智子

大阪府出身、武蔵野音楽大学卒。

東京室内オペラ、パセリの会、カンタンテステッレ、日本イタリア協会、東京オペラグループ等に出演。

中国理事会第3回「長江杯国際コンクール」一般の部1位。

コンセールヴィヴァン新人オーディション合格。

三池三郎氏、大島義彰氏に師事。

板橋区演奏家協会会員、東京二期会会員。

2006、2008年財団法人府中文化振興財団主催コンサートなどでピアニスト坂本利彦氏と共演する。

坂本利彦

昭和36年3月京都大学法学部卒。

4歳よりピアノを故東貞一氏、高木茉莉氏他に師事。

京大交響楽団にてピアノ、クラリネットを担当。大阪フィル、京大響、京都府医大響、京都産大響、府中市民響、羽村フィル等とピアノ協奏曲を共演。

1998年日本アマチュアピアノコンクールで特別賞受賞。

会社勤務を経て、現在ピアノ演奏活動、アマチュアのオペラやコーラス活動、指揮者新田ユリ友の会運営などに携わっている。APA 会員。